

事業系一般廃棄物の減量に関する計画書【記入例】

令和7年 〇月〇〇日

蓮田白岡衛生組合管理者 宛

会社印を押印

所在地 〇〇市〇〇12-3
申請者 名称 〇〇株式会社
代表者 代表取締役 〇〇 〇〇 印
(法人にあたっては主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)
電話番号 012-345-6789

蓮田白岡衛生組合廃棄物の処理及び再生利用の促進に関する条例第20条第2項の規定により、事業系一般廃棄物の減量に関する計画書を作成したので、次のとおり提出いたします。

多量排出事業者の名称	〇〇スーパー 〇〇店					
多量排出事業者の所在地	〇〇市〇〇12-3					
一般廃棄物管理責任者	役職	店長	氏名	〇〇 〇〇		
建築物の用途及び面積	店舗・スーパー		事務所	工場・研究所		
	医療機関等		学校	倉庫・流通センター		
	その他 ()					
	面積		〇〇〇 m ²			
	従業員数 〇〇 人 (パート・アルバイト等含む)					
保管場所	事業系一般廃棄物	面積	〇〇 m ²	産業廃棄物	面積	〇〇 m ²
	再生利用対象物	面積	〇 m ²	合計	面積	〇〇 m ²
排出量・資源化量が 増減した要因	例) 賞味期限が短いものを割引して売切り、廃棄ロスが減少した。 可燃ごみとして扱っていたシュレッダー紙や雑紙を資源化した。					
現在、取り組んでいる 資源化・減量化の具体的方法	例) 部門ごとに徹底した分別を行い、資源化できるものは資源化している。 水切りの徹底を行い、ごみの減量化を図っている。					
今後、取り組もうとする 資源化・減量化の具体的方法	例) 会議等で発生するOA紙等と削減するため、ペーパーレス化を推進する。 POP等の雑紙を専用ごみ箱に分別し資源化を行う。 店頭回収の品目を増やし、資源化を推進する。					
廃棄物に関する事項の 従業員への周知方法	例) 採用時に事業系ごみの分別方法を指導する。 部門ごとの責任者が、適宜分別状況等を確認する。 排出品目別に表記をして、分別方法が安易に分かるようにする。					

廃棄物の種類ごとに記入。

＜前年度の実績＞【記入例】注）該当する項目は全て記入してください。

排出品目	令和6年度（令和6年4月～令和7年3月）					
	総排出量 (kg/年) A A=B+C	廃棄物として処理したもの		資源化したもの		資源化率 減量化率 (%) C/A×100
		処理量 B (kg)	前年比 (kg)	資源化量 C (kg)	前年比 (kg)	
1 O A紙	〇〇	〇	-〇	〇〇	+〇	〇〇%
うち店頭回収量	△△	△	-△	△△	+△	△△%
2 新聞紙	〇〇	〇	-〇	〇〇	+〇	〇〇%
うち店頭回収量	△△	△	-△	△△	+△	△△%
3 雑誌類	〇〇	〇	-〇	〇〇	+〇〇	〇〇%
うち店頭回収量	△△	△	-△	△△	+△△	△△%
4 段ボール	〇〇〇	〇〇	-〇〇	〇〇	+〇〇	〇〇%
うち店頭回収量	△△△	△△	-△△	△△	+△△	△△%
5 生ごみ	□□□□	□□□□	-□□	□	□	□□%
6 びん類	〇〇	〇〇	-〇	〇	〇	〇〇%
うち店頭回収量	◇	◇	◇	◇	◇	◇%
7 缶類	〇〇	〇	-〇	〇〇	〇	〇〇%
うち店頭回収量	◇	◇	◇	◇	◇	◇%
8 ペットボトル	〇〇	〇	〇	〇〇	+〇	〇〇%
うち店頭回収量	◇◇	◇	◇	◇◇	+◇	◇%
9 トレー	〇〇	〇	-〇	〇〇	+〇	〇〇%
うち店頭回収量	△△	△	△	△△	+△	△△%
10 廃プラスチック類	〇〇〇	〇〇〇	-〇	〇	〇	〇%
うち店頭回収量	◇	◇	◇	◇	◇	◇%
11 粗大ごみ	□	□	□	□	□	□%
12 枝木・草	□□	□□	-□	□	□	□%
13 可燃ごみ	□□□□□	□□□□□	-□□□	□	□	□%
14 不燃ごみ	□□	□□	-□	□	□	□%
15 ※食品廃棄物	■ ■	■	■	■ ■	- ■ ■	■ ■ %
16 その他						
品目（ペットキャップ）	〇	〇	〇	〇	+〇	〇%
うち店頭回収量	△	△	△	△	+△	△%
品目（牛乳パック）	〇	〇	〇	〇	+〇	〇%
うち店頭回収量	△	△	△	△	+△	△%
品目（ ）						
うち店頭回収量						
合 計	◇◇◇◇◇	◇◇◇◇◇	-◇◇◇	◇◇	+◇	◇◇.◇%

※「15 食品廃棄物」はリサイクル法の食品関連事業者（食品メーカー・スーパー・コンビニ等食品の卸売・小売業者・食堂・レストラン等、食事の提供を伴う事業）に該当する場合のみ記入してください。

「うち店頭回収量」は、店頭回収を行っている場合のみ記入してください。

＜今年度の計画＞【記入例】注）該当する項目は全て記入してください。

排出品目	令和7年度（令和7年4月～令和8年3月）					
	総排出量 (kg/年) A A=B+C	廃棄物として処理したもの		資源化したもの		資源化率 減量化率（％） C/A×100
		処理量 B (kg)	前年比 (kg)	資源化量 C (kg)	前年比 (kg)	
1 O A紙	〇〇	〇	－〇	〇〇	＋〇	〇〇％
うち店頭回収量	△△	△	－△	△△	＋△	△△％
2 新聞紙	〇〇	〇	－〇	〇〇	＋〇	〇〇％
うち店頭回収量	△△	△	－△	△△	＋△	△△％
3 雑誌類	〇〇	〇	－〇	〇〇	＋〇〇	〇〇％
うち店頭回収量	△△	△	－△	△△	＋△△	△△％
4 段ボール	〇〇〇	〇〇	－〇〇	〇〇	＋〇〇	〇〇％
うち店頭回収量	△△△	△△	－△△	△△	＋△△	△△％
5 生ごみ	□□□□	□□□□	－□□	□	□	□□％
6 びん類	〇〇	〇〇	－〇	〇	〇	〇〇％
うち店頭回収量	◇	◇	◇	◇	◇	◇％
7 缶類	〇〇	〇	〇	〇〇	〇	〇〇％
うち店頭回収量	◇	◇	◇	◇	◇	◇％
8 ペットボトル	〇〇	〇	〇	〇〇	〇	〇〇％
うち店頭回収量	◇◇	◇	◇	◇◇	◇	◇％
9 トレー	〇〇	〇	〇	〇〇	＋〇	〇〇％
うち店頭回収量	△△	△	△	△△	＋△	△△％
10 廃プラスチック類	〇〇〇	〇	〇	〇〇〇	〇〇	〇〇％
うち店頭回収量	◇	◇	◇	◇	◇	◇％
11 粗大ごみ	□	□	□	□	□	□％
12 枝木・草	□□	□□	－□	□	□	□％
13 可燃ごみ	□□□□□	□□□□□	－□□□	□	□	□％
14 不燃ごみ	□□	□□	－□	□	□	□％
15 ※食品廃棄物	■ ■	■	■	■ ■	－ ■ ■	■ ■％
16 その他						
品目（ペットキャップ）	〇	〇	〇	〇	＋〇	〇％
うち店頭回収量	△	△	△	△	＋△	△％
品目（牛乳パック）	〇	〇	〇	〇	＋〇	〇％
うち店頭回収量	△	△	△	△	＋△	△％
品目（ ）						
うち店頭回収量						
合 計	◇◇◇◇◇	◇◇◇◇◇	－◇◇◇	◇◇	＋◇	◇◇.◇％

※「15 食品廃棄物」はリサイクル法の食品関連事業者（食品メーカー・スーパー・コンビニ等食品の卸売・小売業者・食堂・レストラン等、食事の提供を伴う事業）に該当する場合のみ記入してください。

「うち店頭回収量」は、店頭回収を行っている場合のみ記入してください。

排出品目のフローシート【記入例】 注) 該当する項目は全て記入してください。

事業所名	〇〇スーパー 〇〇店		業 種	小売業（スーパーマーケット）
排出品目	事業所内保管場所	回収・運搬業者	処分・運搬先	
1 OA紙	廃棄物・資源物保管場所	(有)〇〇紙業	(株)△△製紙	
2 新聞紙		(有)〇〇紙業	(株)△△製紙	
3 雑誌類		(有)〇〇紙業	(株)△△製紙	
4 段ボール		(株)□□資源	(株)□□資源	
5 生ごみ		(株)〇〇商事	蓮田白岡環境センター	
6 びん類		(有)△△清掃	(株)〇〇〇ガラス	
7 缶類		(有)△△清掃	(株)◇◇◇金属	
8 ペットボトル		(有)△△清掃	(株)□□リサイクル	
9 トレー		(有)△△清掃	(株)〇〇産業	
10 廃プラスチック類		(有)△△清掃	(株)〇〇産業	
11 粗大ごみ		(有)△△清掃	□□産業(株)	
12 枝木・草		(株)〇〇商事	蓮田白岡環境センター	
13 可燃ごみ		(有)△△商事	蓮田白岡環境センター	
14 不燃ごみ		(有)△△清掃	□□産業(株)	
15 食品廃棄物		(株)〇〇商事	(株)〇〇〇〇〇	
16 その他（ペットキャップ）		(有)△△清掃	(株)□□リサイクル	

委託業者ごとに記入。

※ 排出事業者には、処理責任が課せられます。 排出されたものがどのように回収及び処分されているかを記入してください。